

New Horizon 第18回 Lessons

Lesson 18-1 : 様々なフレーズ②

1. **keep** ○○ 形容詞 = ○○を形容詞の状態に保つ

<例> Let's keep this room clean. <この部屋を清潔な状態に保ちましょう>

〔補足説明〕

○○には「名詞」や「名詞のフレーズ (this room)」などが入る。

2. **have good manners** = マナーを守る / 行儀が良い

<例> We need to have good manners. <私たちはマナーを守る必要があります>

3. **prepare (for ~)** = (～のために) 準備する

<例> Let's prepare for disasters. <災害に備えましょう>

4. **stop** ○○ing = ○○することをやめる (○○ = 動詞)

<例> I stopped watching TV. <私はテレビを見ることをやめました。>

〔補足説明〕

動詞 ing は「動名詞 (～すること)」となる。“stop to 動詞”といった to 不定詞の形もあるが、これは「動詞するために止まる」という意味になるので注意。

<例> I stopped to call him. (私は彼に電話するためにとまりました)

5. **take care to ~** = ~して / ~ (するように) 気を付ける

<例> Please take care to wash your hands. <手を洗うようにしてください>

〔補足説明〕

“take care to ~” は、比較的イギリスで使われる表現。似た表現で “take care of ~” は「～の世話をする」という意味になるので注意。

<例> I need to take care of my dog. (私は、私の犬の世話をする必要があります)

Lesson 18-2 : 道案内で使われるフレーズ

1. **look for ~** = ~を探す

<例> I am looking for my bag. <私は、私のカバンを探しています>

2. go along (this street) = (この通りに) 沿って行く

<例> You need to go along this street. <あなたは、この通りに沿って行く必要があります>

【補足説明】

“go along this street” 以外にも “go straight along this street” (この通りに沿ってまっすぐ行く) “go straight on this street” (この通りをまっすぐ行く) といった表現もよく使われる。

<例> You need to go straight along this street.

<あなたは、この通りに沿ってまっすぐ行く必要があります>

また、and を使って文と文をつなぐ場合「文, and 文」となる (通常カンマが必要)。

<例> Turn right at the next traffic light, and go along the street.

<次の信号を右に曲がって、通りに沿って行きます>

3. turn right (at the ○○th traffic light) = (○○番目の信号を) 右に曲がる

turn left (at the ○○th traffic light) = (○○番目の信号を) 左に曲がる

<例> You need to turn right at the second traffic light.

<あなたは、2番目の信号を右に曲がる必要があります>

【補足説明】

○○には、序数 (first, second, third, など) が入る。また、序数だけでなく next も入れることができる。「ここから、最初 (first)、2番目 (second)、3番目 (third)、または次 (next)」と限定されているため、the がつく。

<例> Turn right at the next traffic light. <次の信号を右に曲がって>

また、and を使って文と文をつなぐ場合「文, and 文」となる (通常カンマが必要)。

<例> Turn right at the next traffic light, and go along the street.

<次の信号を右に曲がって、通りに沿って行きます>

4. on your right / left = あなたの右側に / 左側に

<例> That restaurant is on your right. <あのレストランは、あなたの右側にあります>

5. let's see = ええっと / そうですね

<例> A: Where is the station? B: Let's see. You need to go straight on this street.

<A: 駅はどこですか。 B: ええと。あなたはこの通りを真っすぐ行く必要があります>

6. Pardon me? = (問い返す際の) 何ですか / すみませんがもう一度お願いできますか

<例> A: Where is Naoto? B: Pardon me? <A: ナオトはどこですか。 B: 何ですか>

[補足説明]

Pardon は「許し(許す) / 容赦(容赦する)」という意味。つまり、Pardon me. の直訳は「私を許して」となる。また、Pardon me? ではなく Pardon? だけ使われる場合もある。ただし、Pardon は、よりも Excuse me? や I'm sorry?、友だち同士なら What is it? といった表現の方が一般的。

<例> A: Where is Naoto? B: I'm sorry? <A: ナオトはどこですか。 B: 何ですか>

Lesson 18-3 : 様々なフレーズ②③

1. cheer (○○) up = (○○を) 元気づける

<例> This song always cheers me up. <この歌はいつも私を元気づけます>

[補足説明]

○○が代名詞以外の場合は、cheer up ○○ という形でも使うことができる(○○が代名詞の場合は、cheer ○○ up しかつかえないので注意)。

<例> I want to cheer up my friends. (私は、友人たちを元気づけたいです)
I want to cheer up her. = × (私は彼女を元気づけたいです)

2. Guess what. = 何だと思う / あのね

<例> Guess what. Kenta is in our class.
<何だと思う。ケンタは私たちのクラスにいます>

[補足説明]

Guess what. は、会話を始める際によく使われる。また Guess what. の代わりに You know what. という表現も良く使われる。「guess = 推測する」「what = 何」となり「何だと思う」「ちょっと聞いて」という意味になる。また、Guess what? / Guess what! と表記されることもある。

3. trip (to ~) = (~への) 旅行

<例> Our trip to Kyoto was great. <私たちの京都への旅は素晴らしかったです>

[補足説明]

How was your trip? のように trip だけでもよく使われる。

4. *be interested (in ~) = (～に) 興味がある

*be = be 動詞

<例> I am interested in science. <私は科学に興味があります>

〔補足説明〕

何に興味があるのか明らかな場合、in ~ の部分は省略することがある。

<例> I am looking for an English teacher. Are you interested?

(私は、英語の先生を探しています。興味はありますか)

5. here is ~ = (単数形・不可算名詞) ここに～があります / こちらが～です

here are ~ = (複数形) ここに～があります / これらが～です

<例> Here is your ticket. <こちらがあなたのチケットです>

〔補足説明〕

Here is ~./ Here are ~. の形は「(～のために) 用意しました」といった存在を相手に示し注目させるニュアンスがある(そのため、その後に別の行動に続くものが多い)。一方で、This is ~./ These are ~. 「モノや人が何なのか?」を説明や紹介する表現。

<例> Here is your ticket. (ほら、こちらがあなたのチケットです)

「こちらがあなたのチケットです。さあどうぞ」のように存在を示し、次の行動につながっている。

This is your ticket. (これは、あなたのチケット)

「これは何なのか」というと、これは、あなたのチケットです」とチケットの紹介をしているだけ。

Lesson 18-4 : 様々なフレーズ④

1. on foot = 徒歩で

<例> I usually go to the station on foot. <私はたいてい徒歩で駅に行きます>

〔補足説明〕

「徒歩で」という場合、on foot だけでなく by foot が使われることもある (by bus / by car のように)。また、ただ単純に walk が使われることもあるが、by walk ということはできないので注意。

<例> 私はたいてい駅まで歩いていきます。

I usually go to the station by foot.

I usually walk to the station. (I usually go to the station by walk. = ×)

2. Which ○○ ~? = どちらの○○が～ですか / どの○○が～ですか

<例> Which bicycle is yours? <どちらの自転車があなたのですか>

〔補足説明〕

似た表現で What ○○ ~? というのがあるが、What ○○ ~? の場合は「何の○○が～ですか」という意味になる。What ○○ ~? と Which ○○ ~? は、同じような意味で使われることも多いが、Which の場合「どの」なので「ある程度選択肢が限定されている」というニュアンスがあるのに対し What の場合は「何」なので「選択肢が制限されていない」というニュアンスがある。

<例> What sport do you like? (あなたは、何のスポーツが好きですか)

<スポーツなら何でもいい>

Which sport do you like? (あなたは、どのスポーツが好きですか)

<話の文脈上、選択肢となるスポーツが限定されている場合がある>

3. in crowds = 大勢の中を / 群れの中を / 人ごみの中を

<例> We need to walk in crowds. <私は人ごみの中を歩く必要があります>

〔補足説明〕

crowd は「人ごみ」「群衆」といった意味がある。また限定されている人込み（目の前の人ごみ、自分たちが属している人込み、など）を指す場合は the crowd となる。また、crowded とすると「込み合っている」「満員の」といった形容詞となる。

<例> I don't want to stay in the crowd. (私は、人ごみの中にとどまりたくありません)

This road is very crowded. (この道は、とても込み合っています)

4. get ○○ = ○○の状態になる (○○=形容詞)

<例> You need to get ready soon. <あなたはすぐに準備万端の状態になる必要があります>

5. probably = おそらく～でしょう / たぶん～でしょう

<例> He is probably right. <彼はおそらく正しいでしょう>

〔補足説明〕

文中に入れることができる「副詞」なので、be 動詞の文なら be 動詞の後に足され、一般動詞の文なら、一般動詞の前に足される。また、can などの助動詞の文の場合、助動詞の後に足される。また、Probably(,) の形で文頭に置いて使われることもある。

<例> She probably came here by bus. (彼女は、おそらくバスでここに来たのでしょう)

He can probably answer this question. (彼は、おそらくこの質問に答えられるでしょう)

Probably, they are tired. (おそらく彼らは疲れています)

6. anyway = いずれにせよ / とにかく / それにも関わらず

<例> It was not my homework, but I did it anyway.

<私の宿題ではありませんでしたが、私はそれにも関わらずやりました>

【補足説明】

多くの場合、文の最初か最後に置かれる（文の最初に置かれる場合は、カンマが打たれることが多い）。

<例> Anyway, let's start our meeting. （とにかく、私たちの会議を始めましょう）